

令和3年度認知症標語コンテスト

【大人の部】19歳以上

	作品	作品に込められた思い	年代
1	桜みち おかし話に 胸はずむ	8年前、母がアルツハイマー型認知症で65歳で他界しました。記憶がだんだんなくなっていく母と桜がさく道を散歩をしたとき、母は昔の出来事をニコニコしながら話していました。あの時、おだやかな時間がゆっりと流れているのを感じ、無邪気に話す母が愛おしくてたまりませんでした。その瞬間の気持ちを標語にしました。	40代
2	さりげなく その一言が 安堵する	8年前に、65歳の母がアルツハイマー型認知症で他界しました。徘徊が頻繁に起きていた頃、何度も探してまわりました。一晩いなくなったある日のこと、真冬でサンダル姿で歩いている様子をタクシー運転手さんが見つけてくださり、様子を察して、母が驚かないようにさりげない声をかけてくれたのです。その一声がどれだけ母を安心させたことでしょうか。	40代
3	忘れないでを忘れない	悲しかったこと、嬉しかったこと、すべてを含めて忘れないという気持ち。	60代
4	その知恵が 安心させる 認知症	8年前に、65歳の母がアルツハイマー型認知症で他界しました。母が通っていた大村市内のデイサービスでは、物事や手順を忘れていく母のために、あらゆる知恵を生かして母が生活しやすいように、さりげなく手順などを書いたものが表示されていました。思いやりを感じた瞬間でした。	40代
5	忘れても 暮らし続けたい 人が繋がる城下町おおむら	南島原、関東、長崎市と、住み、大村に永住することを決めました。認知症看護認定看護師となり10年が過ぎ、長崎市を拠点に活動し、県内外の様子もなかなかで、ソーシャルサポートだけでなく、そこに暮らす人たちの力がとても大切だと感じています。大村は、防災無線で呼びかけたり、街の人たちが偏見なく温かくサポートしてくださったりと、繋がり深い街だと感じています。わたしも、ここで皆さんと繋がりを続けていきたいです。	40代
6	どちら様？笑顔でまんじゅう食うオヤジ	施設に差し入れしても誰かわからないけど大好物のお饅頭に罪なく美味しく食べる。食欲もあり元気に笑ってる。まあいっかと寂しくもあり嬉しくもある複雑な心境。	40代
7	薫りし沈丁花 懐かしき母の鼻歌	認知症で言葉少なくなった祖母の好きだった沈丁花 その季節ふと香りに懐かしい鼻歌を歌いだした。	40代
8	祖父と孫 並ぶ歩行器 よ〜いドン！	久しぶりに退院してきた祖父と歩き始めて間もない孫が歩行器に乗り、3世代のほのぼのとした時間を標語にしました。コロナで面会もままならないからこそ共有できるなにげない幸せな時間を大切にしたいです。	40代
9	祖父と孫 並んだ寝顔 間違いない。	生え際や眉。間違いないDNA 不思議なくらい似てるんですよ。	40代
10	施錠よし！今日も元気に朝帰り… 地域のみなさまお世話かけます。	部屋の窓も玄関もカギをかけるのにどういわけか抜け出しては近所や地域のみなさまに手を借りて帰ってきます。怪我しないで帰ってください。	40代
11	遠き日の おすんで開いて 今祖母と	保育園の参観日母の代わりにおばあちゃんが来てくれておすんでひらいてを習った記憶と今ヘルパーとしておばあちゃんとおすんでひらいてを歌ってる。立場は変わっても幸せな時間です。	40代
12	なあ母ちゃん 同姓同名ちゃうねんな 今日 思い出すやろか	認知症もわかる日とわからない日があり、施設に面会に来ても今日は1時間で思い出してくれた。また来るねと笑顔の息子さん。	40代
13	1-2-6 発祥の地で ポケ防止	競艇大好きな父が生涯貫き続けたこだわりの1-2-6でした。好きなことを最後まで自宅で楽しんでいました。BSチャンネルとかで。	40代
14	支え合い 何れは自分が支えられ	認知症は他人事ではなく、自分自身が何時発症するか分からない。そのため、認知症の人を日頃から支えることが、自分自身が支えられることにつながると思う。	80代
15	寄り添いながら ふれあいながら 暮らしていこう この町で	町も人も優しい大村であって欲しい。	70代

	作 品	作品に込められた思い	年代
16	認知症 ともに支える わが町おおむら	県内でも人気の大村 高齢者にも優しい町であってほしい。	70代
17	よかよ よかよと 認め合える 支え愛いのまち"おおむら"	認知症の方は日々精一杯過ごされているのではないでしょう か。出来ない事があり、不安になられる方もいますが、ちょっ との声掛けで不安が安心に変わることができます。「よか よ！」と気軽に声掛けができる人が一人でも多くいてほしいで す。	40代
18	優しい心で声をかけよう 愛の手で	認知症の家族を介護したことがあり、それを思い出し作成しま した。	80代
19	認知症 みんなで認知しよう	認知症の人もそうでない人も、みんなでお互いを分かり合え たら良いなど思いました。	20代
20	支え合い ともに増やそう 笑顔の和	みんなで一緒に支え合って、笑顔が広がれば良いなど思い ました。	20代
21	忘れない この町で 自分にもできること	今有る「ともに暮らそうこの町で」(配布カード)につなげたい。 先人が積み上げてきたものを、後世につなぐために、「もしかし たら」誰にも出来そうなことが有るのでは。	60代
22	助け合いの町 おおむら	認知症の方も、健常者も、お互いが助け合っていけたらいい などおもいます。	20代
23	認知症 みんなが見守る 優しい街	認知症になったとしても、どこでも誰かが優しく気付いて欲しい と言う気持ちを込めました。	50代
24	ささえ合う町 大村市	誰もが気付いて支え合う気持ちが、これからは大切だと思 う。	50代
25	認知症 つつんで支える 愛のまち「おおむら」	身近なものとなった「認知症」の人々を、温かくつつみこむ。 そして支えてやれる。そんな社会でありたい「おおむら」のまち。	70代
26	寄り添って 心ひとつに 認知症	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
27	認知症 つながる絆 家族愛	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
28	すてきだよ 笑顔の君は 認知症	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
29	認知症 心ひとつに 支え合う	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
30	生きようよ みんなと共に 認知症	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
31	認知症 地域と共に 寄り添って	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
32	寄り添って 心ひとつに 認知症	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
33	暮らそうよ みんなと共に 寄り添って	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
34	認知症 笑顔のままで いいんだよ	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
35	やさしさを 心ひとつに 認知症	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
36	認知症 君はいつもの ままでいい	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
37	いつまでも あなたのままで いいんだよ	3年前亡くなった母への想いを込めて作りました。	70代
38	みんなでさ 暖かい目を 忘れないでネ	いつも親には感謝を伝えられず、つらい時に側に居るだけで 癒しをもらっている。	50代
39	広げよう オレンジリング 地域から	(認知症の人本人が身につけるオレンジリングも含めて)社会 に広がっていないので、もうすこし広める必要がある。	70代

	作 品	作品に込められた思い	年代
40	認知症 神が与えた 贈りもの	見方、考え方を変えて、素直に受け入れよう。人間は還暦後は子供にかえる。なにもわからない生まれたときにかえる。そう考えると、人間の自然の状態なのかもしれない。	70代
41	穏やかな 理解と気遣い あなたから	認知症の人に対しては、穏やかに対応することが大事だから。	70代
42	度忘れも たび重なると 初期認知	夫婦で度忘れのたびに認知症ではないかと笑っていますが、認知症との区切りが解からないのが怖いですね。	80代
43	ウォーキング 認知予防に 効果大	天気の良い日は野岳の遊歩道に行っ、健康増進、体力維持、認知予防のためウォーキングをしています。	80代
44	忘れても 思い起こせる まちづくり	認知症の方へ地域全体でやさしく接することにより、忘れた事を思い起こせるような取組。	50代
45	ぼけ症状 だれにでもなるんだよ 独り悩まず 気軽に相談	私自身、いつなるかと恐怖心を持っています。その時、気軽に相談を受けれるかどうか？	70代
46	趣味におしゃべり・ウォーキング 心浮き浮き身体(カラダ)すっきりで 認知症に克つ	65才で退職後、無趣味の私は昔の事ばかり思いだし後悔の日々でしたが、ウォーキングを始めて少し変わりました。	70代
47	おおむらの みんなのやさしさ 笑顔と共に あなたのハートに届けます	おおむらの人たちの優しさが、笑顔と共に認知症の方に届いたらいいなぁと思い、考えました。私自身もそのように接しております。	40代
48	忘れても あなたを みんなで 見守りたい	認知症になっても、みんなが見守るあたかなまちおおむらであってほしいと願い、考えました。	50代
49	ささえ愛 地域ふれ愛 たすけ愛	家族・地域住民が愛情を持って支え、触れ合い、互いに助け合って共存できる社会を目指す。	80代
50	笑顔で おしゃべりは 健康のバロメーター	民生委員活動中、笑顔とおしゃべりで健康を確認し、安心します。	60代
51	笑顔で とともに語り この街で 生きる幸せ	民生委員活動中、笑顔で語りあい、同じ街で生きる幸せを感じました。	60代
52	いつもお話をありがとうございます！ その笑顔がみんなの励み	民生委員活動中、お話を聞き、うれしそうな笑顔がわすれられません。私の活動の励みとなっています。	60代
53	いつも笑顔とおしゃべりありがとうございます！ この街でともに生きる	民生委員活動中、笑顔のおしゃべりで、同じ街でともに生きていると縁を感じました。	60代
54	みんなだね 手をとり合うよ 大村市	私たち若者たち皆で、人生の先輩と一緒に過ごせる。忘れても、私がおぼえていると言う思いを込めています。私も家族と協力して祖母をささえています。	30代
55	いくえにも やさしく見守る おおむらざくら	何重もの花卉が、高齢者を見守っている様子を大村市の花に例えました。	50代
56	あなたの支えが力になる。 心ふれあい笑顔つながる。	なかなか向き合い支えることは簡単ではないと思います。家族ならなおさら色々な感情が出て、良いときもあればいやになることもあるとおもいます。だからこそ、抱え込まずにまわりの人に助けてもらう勇気決断、そのまわりの支えが力になり、気持ちの余裕が生まれ笑顔につながるという思いで考えてみました。	50代
57	徘徊を 地域で見守る 散歩にしよう	地域包括ケアシステムの構築に向けて、認知症サポーターの輪を小学生～高齢者まで、みんなでささえる、みんなが考える、街にしていきたい。	40代